

令和5年度 子どもの居場所づくり勉強会（全7回）

「子どもの居場所を支援するマッチング」

— 新たな支援の形 —

子ども食堂やフードパントリー、学習支援教室など、家でも学校でもなく、誰もが気軽に集える“子どもの居場所”は、三重県内でも増加しており、令和5年度の調査では181箇所が確認されました。

しかし、子どもの居場所は食材や物資、活動資金などの確保について課題を抱えながらも、運営者の創意工夫により活動していることから、三重県及び三重県社会福祉協議会では子どもの居場所の“ニーズ”（してほしいこと）と、子どもの居場所を支援したいと考える企業、団体などの“シーズ”（できること）を見える化し、双方をマッチング・コーディネートする支援を行っています。

第7回の勉強会では、ニーズ・シーズマッチング事業が2年目を迎え、現在さまざまな形のマッチングが実現していることから、実際に成立したマッチングについての事例報告や意見交換を行い、今後さらに多様なマッチングの実現をめざします。

日時 令和6年2月20日（火）
13時30分～15時45分

開催方法 (1) 現地会場（100名まで）
(2) オンライン（Zoom開催）

三重県社会福祉会館 3階
講堂（津市桜橋2丁目131）

※駐車場には限りがございます。

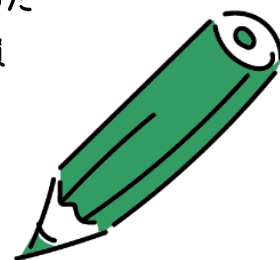
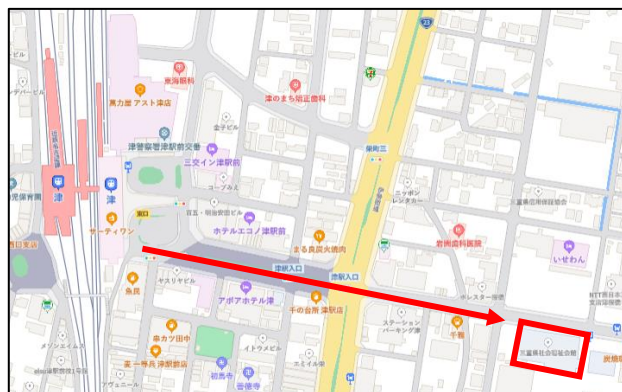
周辺の有料駐車場をご利用いただくか、公共交通機関の利用にご協力ください。

対象 子どもの居場所づくり活動団体、子どもの居場所づくりを応援する団体や企業、子どもの居場所づくりに関心のある方、始めたいと考えている方、行政担当職員、各市町社会福祉協議会職員
その他関係団体

参加費 無料

申込方法 Google フォームまたは「参加申込書」の提出（FAX・MAIL）

申込締切 令和6年2月16日（金）



【問い合わせ先】

社会福祉法人 三重県社会福祉協議会 地域福祉課 「子どもの居場所」担当
TEL：059-227-5145 FAX：059-227-6618 Mail：kodomo29@miewel.or.jp

13:30~13:35	三重県子ども・福祉部 部長あいさつ・趣旨説明 (受付 13:00~)
-------------	------------------------------------

第1部 三重県からの事業説明

13:35~13:55	<ul style="list-style-type: none"> ・導入—三重県の実施する“子どもの居場所”支援事業（三重県担当者） ・「子ども食堂における衛生管理について」（三重県担当者） ・「三重県食品提供システム（みえ〜る）について」（三重県担当者）
13:55~14:15	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの居場所」支援事業について～活動事例紹介～（三重県社会福祉協議会） ・（活用事例紹介）社会福祉法人 日の本福祉会
14:15~14:30	<p>飲食店の「子どもの居場所」への参加促進モデル事業 子ども朝ごはん食堂への参加促進モデル事業の成果報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人 鳥羽市社会福祉協議会 ・NPO 法人 三重はぐくみサポート
14:30~14:40	質疑応答
14:40~14:50	休憩

第2部 マッチング成立事例の発表・紹介

14:50~15:35	<p>「ニーズ・シーズの事例紹介」</p> <p>NPO 法人 shining（鈴鹿市） × 東海衣料株式会社（四日市市） ○ 鈴鹿市制服リユースBOX設置について、制服等の補修を支援。</p> <p>けいわっこカレー食堂（津市） × 三重県園芸振興協会（津市） ○ 品評会で使用した、梨や苺を子ども食堂に寄付。</p> <p>川島子ども食堂（四日市市） × ハシテツ株式会社（伊勢市） ○ 四日市市・伊勢市の子どもの居場所2団体に活動資金の支援。</p> <p>北勢地域の子ども居場所 × JA みえきた（四日市市） ○ 定額貯金キャンペーン実施にともない預金額の0.001%の商品券の寄付。</p> <p>（事例報告者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡田 聖子 氏（鈴鹿市 NPO 法人 shining） ・田中 秀典 氏（津市 けいわっこカレー食堂） ・勝田 ひとみ氏（四日市市 川島子ども食堂 たけのこハウス） ・橋本 宏彦 氏（伊勢市 ハシテツ株式会社）
15:35~15:45	質疑応答

第1部 事例発表団体紹介

○社会福祉法人 日の本福祉会（桑名市）

県北部を中心に保育園、学童保育所、子育て支援センター学習支援・子どもの居場所を61拠点運営しています。学習支援は、桑名・四日市・川越町でそれぞれ週1～週2回、小学生、中学生が勉強しています。今年度4月は、34名でスタート、1月現在84名に増えています。

貧困の連鎖を止め、無理なく成果を出し、将来社会で大活躍する子どもを育てることをモットーに運営をしています。



○社会福祉法人 鳥羽市社会福祉協議会（鳥羽市）

これまで、鳥羽市内の居場所、子育てサロン・多世代交流サロンの立ち上げや開催を支援。また、とば地域・子ども食堂ネットワーク事務局として市内子ども食堂に関わっている。

今年度、“飲食店の「子どもの居場所」への参加促進モデル事業”を活用し、子ども食堂ができる市内飲食店を開拓しながら、子どもや保護者だけでなく、町内会や民生委員、学校関係者など地域の方々にも子どもの居場所や子ども食堂の大切さについて周知を行った。歩いて行ける子ども食堂を目指して「とばのこ食堂」事業を実施。



○NPO法人 三重はぐくみサポート（四日市市）

2016年より、ひとり親家庭を対象とした「四日市子ども食堂55」を運営。コロナ禍で始まったフードパントリー「はぐくみエイド」事業を実施し、地域の子どもたちを支援しています。

今年度、“飲食店の「子どもの居場所」への参加促進モデル事業”及び“子ども朝ごはん食堂への参加促進モデル事業”を活用し、四日市市内の飲食店等を対象とした、クーポン（WEB・紙チケット）方式による子ども食堂を開催しました。



第2部 事例発表団体・企業紹介

ONPO 法人 shining (鈴鹿市)

2014年6月に設立。地域で子どもを見守り育てるをモットーに活動中。多角的に子どもの居場所づくりに取り組んでいます。具体的には子ども食堂の他、自然探検隊・不登校児のフリースペース“みんなの居場所ラビュタ・学習支援 etc…
昨年度から制服リユース事業も開始し、昨年末にフードバンク鈴鹿を立ち上げました。



〇けいわっこカレー食堂 (津市)

2016年8月から地域の居場所づくりを始め、本年秋で9年目を迎えます。毎月第2土曜日に『けいわっこカレー食堂』を開催しており、月替わりでいろいろな種類のカレーをご提供しております。子ども無料、大人300円で、食事の他に絵本の読み聞かせ、昔遊び体験も行っており毎月約150名様の利用があります。

また、2023年8月より休日の朝ごはん支援として、けいわっこ朝ごはん食堂を毎月第4日曜日9時30分から開催をしております。地域のこどもたちの居場所であることもさることながら、ボランティアに参加をいただく学生たちの良き居場所になれるよう今後も活動をしてまいります。



〇川島子ども食堂 たけのこハウス (四日市市)

川島こども食堂 たけのこハウスは、川島のこどもやその家族を支援するため、こどもの食事・居場所の提供や、食品等の配布を行うとともに、こどもたちが地域で健やかに育つことができる環境を整えることを目的として活動しています。現在は長期休暇の前後等不定期に50名程度を対象に昼食の提供を行っていますが、今後は月1回程度の開催をめざしています。



〇ハシテツ株式会社 (伊勢市)

弊社は1946年の創業以来、機械加工部品製造・プラント設計・振動機・エアーコンプレッサー等の省力化機器の販売・メンテナンス、半導体搬送装置の部品組立てと業務を拡大して参りました。

「お客様の期待を超えるサービスを」をモットーに、お取引先の経営課題克服の一助となるべく日々業務に取り組んでおります。

